

令和元年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立東住吉会館
施設所管課・担当	東住吉区役所 区民企画課 (担当：今井・狩森)
条例上の設置目的	コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、もって連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与することを目的とする。
業務の概要	(1) 貸館運営業務 (2) 使用料徴収及び収納業務 (3) 施設総合管理業 (4) その他
成果指標	利用枠数/利用率
数値目標	4627/71.6%
指定管理者名	株式会社 ハウスビルシステム
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日 (5年間)
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用枠数	利用率
数値目標	4627	71.6%
年度実績	4188	64.8%
達成率	90.5%	90.5%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	43,913	50,169	-6,256
稼働率	64.8%	68.7%	-3.9%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異 (実績 - 計画)	主な要因
業務代行料	実績	18,469,445	18,500,000	169,445	
	計画	18,300,000	18,500,000		
利用料金収入	実績			0	
	計画				
その他収入 (自主事業収入)	実績	1,459,777	1,221,539	-140,223	
	計画	1,600,000	1,400,000		
合計	実績	19,929,222	19,721,539	29,222	
	計画	19,900,000	19,900,000		

支出		当年度	前年度	差異 (実績 - 計画)	主な要因
人件費	実績	14,012,453	13,924,810	512,453	
	計画	13,500,000	13,500,000		
物件費	実績	3,650,506	3,938,680	-899,494	
	計画	4,550,000	4,700,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	2,266,263	1,858,049	1,616,263	
	計画	650,000	650,000		
合計	実績	19,929,222	19,721,539	1,229,222	
	計画	18,700,000	18,850,000		

令和元年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用率71.6%以上	90.5%	B	コロナウイルス感染症拡大防止による利用自粛で利用率が下がった

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
光熱水費については、冷暖房機器のこまめな入り切りや職員による日常チェックの充実等により縮減に努めていたが、熱中症対策等の影響や消費税率の改定等により縮減することができなかった。事務費については、厳格な費用チェックをすることで経費の縮減ができた。人件費については効果的な業務遂行を心がけて残業を縮減しましたが、時間給の上昇などの影響で全体としては経費縮減することができなかった。	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	A	コロナウイルス感染症拡大防止措置として、施設の利用制限等があった為、利用自粛に伴う使用料の還付等の処理も増えたが、速やかに対応が出来ていた。
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	A	区との連携により、情報や課題の共有が出来ていた。

5 利用者ニーズ・満足度等

会館利用者から無作為に抽出した280名に対し、利用者の地域や性別、年齢等から会館の料金設定や利便性、要望等の内容のアンケートを実施した結果、約89%にあたる248名に満足して頂き、再度利用したいとの回答を頂いていた。また、様々な要望の中から次の課題を見出し、利用者ニーズに対応する姿勢が感じられた。

6 外部専門家意見

<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数の減少はコロナウイルス感染対応の影響を考慮すれば、理解できる。他区の施設に比較すれば下げ幅が大きめであったが、より慎重な対応が取られたと断定できる。効率的な業務運営による経費削減において、苦労されていることを認める。自主事業への積極的取組を評価する。利用者アンケート収集の取組を評価する。分析結果の可視化も考慮されたい。 ・コロナウイルス感染症の状況の中、よく自主事業、サークル活動に力を入れている。利用者の満足度も高い。また、市費（経費）の削減等への努力も評価できる。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	コロナウイルス感染症拡大防止による利用自粛で利用率が下がったが、評価できる。
市費の縮減	B	常に経費削減を意識し、努力していた。
管理運営の履行状況	A	コロナウイルス感染症拡大防止措置として、施設の利用制限等があり、利用自粛に伴う利用取消等の処理も増えたが、利用者に対し適切な対応を取っていた為、苦情等もなく、速やかな対応が出来ていた。また、区と情報を共有し適宜、対応していた。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	利用者に対するニーズの調査と、それに即した事業が実施されていたが、コロナウイルス感染症の影響を受け、利用自粛等で中止になる等で利用率は下がってしまった。また、経費の削減にも努めているので、おおむね事業計画どおりの効果が得られている。利用者からの意見・要望・苦情等については職員間での話し合いや区役所担当者との協議・検討を十分に行い、対策を講じていた。